



お斎（とき）ご報謝スタッフの皆さん

して下さるようになり、本当にありがたいことです。
お斎（精進うどん）
いなり寿司）千人分
や売店も、当日まで
念入りに準備されま
す。ご門徒の思いが
結集した法座です。

小田原倅江さん特製精進
ケーキ「豆腐のパンナコッ
タココア風味」。出勤法中
六ヶ寺に出されました。

親しんだご本尊さまともお別れ。



レトロな照明が素敵な畳敷きの廊下。

呉仏教婦女会館 老朽化でお別れ

呉仏教婦女会館は、戦後まもなく
建築された瀟洒（しょうしゃ）で
上品な和風建築。残念ながら老
朽化のため取り壊すことになり
十二月二日の報恩講をもって閉鎖
されました。以後の行事は、隣接
する本願寺会館で行われています。



配布された写真左上の紙。濃い色と薄い色の八角形
があるように見えますが、実は全部同じ色。黒板には
体長の違う二匹のネコの絵がはり付けてありますが、
実はこれも同じ長さ。人間の目は当てになりませんね。

お取り越しの最後、長ノ
木本坊ご講師は、八王子市
の松本智量先生。「問い」と
しての「呼び声」と題し、
七高僧のお話を七席に配当し
てお話し下さいました。
先生は、演題の下から大
事そうに銀の玉を取り出し、
ゆつくりと手を放されまし
た。すると、玉は落ちずに宙
に浮いたまま（驚）。それは
実は銀の玉ではなく料理道具
の「おたま杓子」で、宙に浮
いたと思ったのも錯覚。私たち

普段いかに思い込みで物を見たり
聞いたりしているかということ



長ノ木本坊お斎（とき）スタッフの皆さん

す。この他にも先生は、死刑問題等、
色々なことについて分かりやすく、
深くお聞かせくださいました。
今年は雨で、お斎（仏教徒の食
事のこ）の準備も大変でしたが、
事前にテントを張って無事準備が
できました。また、ご満座以外は
年々お参りされる方が減ってきて
いて、七席の法座をどうするか皆